

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 泉崎 春海



平成25年夏休み号

No. 4 5 6

充実した夏休みに

校長 泉崎 春海

校庭の木々の間から、セミの鳴き声が聞こえてくるようになりました。夏本番、明日からは、子供たちが待ちに待った夏休みです。次のことに留意して、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

1 様々な体験・経験を

4 4日間という長い休みですので、普段はできなような体験・経験を是非してほしいと思います。「海や山で自然にふれる」「長い本を読むのに挑戦する」「プールに通って泳ぐ力を伸ばす」「おうちの人と一緒にご飯を作ってみる」「ラジオ体操に通う」…、他にも長い休みでなくてはできないことはたくさんあります。「これをやる」と夏休みに挑戦することが決まっている子供たちも多いでしょう。まだの場合は、是非、各ご家庭で相談して決めていただけると良いと思います。

2 規則正しい生活を

休みになって、学校に行かない生活が続くと、生活のリズムが崩れがちになります。夜、遅くまで起きて、ゲームをしたり、テレビを見たりする生活をおくっていると、「夜型の生活リズム」が身に付いてしまい、朝、起きられなくなってしまう。この「夜型の生活リズム」を夏休み中、続けていると、9月になって学校が始まったときに、朝起きるのがつらく、夏バテもしやすくなります。ですから、休み中も「早寝早起き」をして、朝ご飯をきちんと食べる生活をしてほしいと思います。

3 安全な生活を

このところ、子供をねらった事件が多発しています。本校でも、先日のお便りで既にお知らせしましたように、不審者が土足で校内に侵入する事件が起きています。

子供が一人で行動しないことが大切です。ですから、プールや学力補充教室に来るときは、できるだけ近所の友達と誘い合って来校するようにしてください。また、子供たちが不審者に会ったら、次の行動ができるように引き続き、ご家庭でもご指導ください。

①不審者に会ったらすぐに逃げる。

②「助けて」など大声を出す。防犯ブザーを鳴らす。(出かけるときには、必ず防犯ブザーを携帯させてください。)

③近くの大人に助けを求める。近くに大人がいなかったら、近くの家やお店に駆け込む。

子供たちの安全を守るためには、大人の見守る目が欠かせません。どうぞ子供たちのことを見守り、子供たちが楽しく、充実した夏休みを過ごせるようにご協力ください。

